

「DV(ドメスティック・バイオレンス)対策基本計画(案)」

に対する意見を募集します

市では、配偶者などからの暴力防止や被害者の支援を積極的・効果的に推進するため、DV対策基本計画を今年度中に策定します。

この計画(案)について、広く市民の皆さんからの意見を募集します。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

★施策の概要★

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、次の4つの基本目標を掲げ、DV防止と被害者支援の取り組みをすすめます。

①男女間の暴力をなくす環境づくり

・DV防止に関する啓発・研修を行い、暴力のない互いに助け合える環境づくりを進めます

②適切な相談の実施

・状況に応じて、スムーズかつ適切な対応ができるように他の関係課や機関との連携を強化します
・きめ細やかな対応ができるよう相談体制を充実します
・相談員の研修などを実施し、資質の向上を図ります

③DV被害者の自立支援

・被害者が自立し、安心して地域で生活できるよう、住宅の確保、就労、子どもへの対応などを支援します。

④推進体制の整備

・市役所内に、関係課による庁内連絡会、苦情相談窓口を設置します
・市、各種支援団体、関係機関等による、通報・見守りなど総合的なサポートを行う「DV防止ネットワーク」を確立します

★閲覧方法／

市ホームページに掲載するほか、市役所2階市民活動支援課、男女共同参画センター(くすのきプラザ:大津町)、各支所地域振興課で閲覧できます。

★募集期限／1月13日(火)〈必着〉まで

★おたずね／出雲市男女共同参画センター
☎22-2055

★意見の提出方法／

意見(形式は自由)は、住所・氏名を書いて、市民活動支援課または男女共同参画センターへ直接お持ちいただくか、郵送、FAX、Eメールのいずれかでお寄せください。

◎郵送先／〒693-0011 出雲市大津町2096-3
出雲市男女共同参画センターあて

◎FAX／22-2157

◎Eメール／cooperate@city.izumo.shimane.jp

ぜひ、皆さんのご意見をお寄せください。

配偶者や恋人など、親密な関係にある相手からの暴力のことです。身体的・精神的・性的に苦痛を与える行為のことをいいます。夫婦間や恋人同士であっても暴力は犯罪です。プライベートな関係の中で起こるDVは外から見えず、周囲も気づかず、見過ごされがちです。そのため、被害が深刻になるまで分りにくいという難しさがあります。

平成19年度から「出雲市女性相談センター」を開設して、相談を受けています。平成19年度の相談件数は339件、うちDV相談は42件ありました。また、平成17年に実施した市民意識調査では、男性の1・6%、女性の8%が、「自分が暴力を受けたことがある」と回答し、「身近な人が暴力を受けたことがある」を合わせると、男性7・4%、女性20・2%の人が、DVを身近に経験していることがわかります。

DVって何?

出雲市でのDVの状況

本格的な寒さがやってくる前に

水道管の冬支度



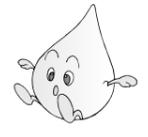
寒さに弱い水道管。寒波が来る前に防寒対策をしておきましょう

今年も寒い冬がやってきました。この季節に気をつけたいのは水道管の凍結です。気温がマイナス4度以下になると、水道管が凍結したり、破裂したりすることがあります。

寒波に備えて、水道管の防寒対策を忘れずに行いましょう。

特に凍りやすいのは

- ・むきだしになっている水道管
- ・風当たりの強いところにある水道管
- ・北向きで日陰にある水道管
- ・給湯器に接続するまでのむき出しになっている水道管



防寒対策をしっかりと

〈屋外露出配管には〉

- ①水道管や蛇口に保温材(発泡スチロールやポリエチレン筒)を巻きまます。手近なものとしてタオルや毛布なども代わりになります。
- ②保温材が濡れないように上からビニールテープを巻いてください。下から上にテープを重ね合わせて巻きつけましょう。

凍結 してしまったら



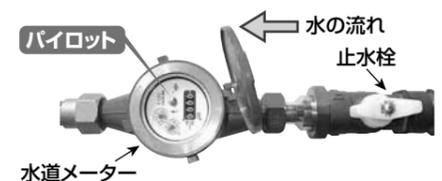
自然に溶けるのを待つか、凍った部分にタオルをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。(熱湯は、破損の危険がありますので絶対にかけないでください)

注意 熱湯はかけないでください

破損 してしまったら

- ①メーターボックス内の止水栓を右に廻して水を止める。
- ②破裂箇所に布かテープを巻きつけ応急処置をする。
- ③最寄りの指定工事業者(注)へ連絡してください。

宅内漏水の検査方法



破裂が発見できない場合でも、床下や壁の内側の配管などから漏水していることがあります。漏水は水道メーターで確認できます。家中の蛇口を閉めても、パイロットがまわっていたら漏水が疑われます。漏水していたら、指定工事業者(注)へ連絡してください。

次のような対策も効果があります

- ・給湯器に直接風が当たらないようにする。
- ・ガラリ(床下通気口)を閉じる。
- ・水洗トイレの暖房便座の電源を入れておく。

おたずねは

- ・上下水道局水道施設課 ☎21-3512
- ・平田支所上下水道課 ☎63-5554
- ・河南上下水道事務所 ☎43-1211

(注)指定工事業者は市のホームページをご覧ください。上下水道局におたずねください。